

設 計 課 題 「シェアハウス(木造)」

1. 設計条件

- ある地方都市の市街地において、友人や家族、地域住民を招き入れて会食やイベントができる共用リビングのあるシェアハウスを計画する。
- 計画に当たっては、次の①～③に特に留意する。
- ①共用リビングには、屋外から専用の出入口を設ける。又、共用リビングに隣接して屋外テラスを設け、直接行き来できるようにする。
- ②建築物の耐震性を確保する。
- ③建築物の環境負荷低減(省エネルギー等)に配慮する。

(1) 敷 地

- ア. 形状、道路との関係、方位等は、右下に示す敷地図のとおりである。
- イ. 第一種住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。
- ウ. 建蔽率の限度は60%、容積率の限度は200%である。
- エ. 地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。
- オ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。

(2) 構造、階数、建築物の高さ等

- ア. 木造2階建てとする。
- イ. 建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは7m以下とする。
- ウ. 耐力壁(筋かい等を設けた構造上有効な壁)は、必要な量をバランスよく配置する。

(3) 延べ面積等

- ア. 延べ面積は、「160㎡以上、200㎡以下」とする。
- イ. ビロティ、玄関ポーチ、屋外テラス、屋外スロープ、駐車スペース、駐輪スペース等は、床面積に算入しないものとする。

(4) 人員構成等

- 居住者：4人
- 運営スタッフ：1人(外部委託)

(5) 要求室等

- 下表の全ての室等は、指定された設置階に計画する。

設置階	室 名 等	特 記 事 項
1階	玄 関	・下足入れを設ける。
	シューズクローク	ア. 玄関に隣接して設ける。 イ. 棚を設ける。
	台所・食事室	ア. 1室にまとめる。 イ. 広さは、19㎡以上とする。 ウ. 共用リビングと隣接させて、直接行き来できるようにする。 エ. 台所から共用リビングへ、軽食等を提供できるようにする。 オ. 食事室には、テーブル及び椅子(計6席)を設ける。 カ. 屋外テラスへ直接行き来できるようにする。
	納 戸	・広さは、3㎡以上とする。
	便 所 (A)	
	洗 濯 室	・洗濯機(計2台)、手洗器を設ける。
	共用リビング	ア. 居住者のリビング利用のほか、友人や家族、地域住民を招き入れ会食やイベント等にも使用する。 イ. 広さは、23㎡以上とする。 ウ. 屋外から直接行き来できる専用の出入口を設ける。 エ. 出入口に下足入れを設ける。 オ. ソファア(計6席以上)、テーブル及び椅子(計4席以上)、棚を設ける。 カ. 台所・食事室と隣接させて、直接行き来できるようにする。
	多 目 的 便 所	・共用リビングから利用できるようにする。
	スタッフ控室	ア. 広さは、3㎡以上とする。 イ. 机及び椅子(計1席)、ロッカーを設ける。
	個室(1)・(2)	ア. 広さは、洋室9㎡以上とし、その他に収納を設ける。 イ. 1人利用とする。 ウ. ベッド、机及び椅子を設ける。
2階	ドミトリー	ア. 広さは、洋室13㎡以上とし、その他にウォークインクローゼットを設ける。 イ. 2人利用とする。 ウ. ベッド(計2台)、机及び椅子を2つずつ設ける。
	談 話 室	ア. コーナーとしてもよい。 イ. テーブル及び椅子(計4席以上)、棚を設ける。
	洗面脱衣室	・収納を設ける。
	浴 室	
	洗 面 室	・コーナーとしてもよい。
	便 所 (B)	
(注1)各要求室等において、床面積・広さの指定がない場合、床面積は適宜とする。 (注2)1階の廊下の幅は、心々1,365mm以上する。		

(6) 屋外施設等

- 屋外に下表のものを計画する。

屋 外 テ ラ ス	ア. 広さは、9㎡以上とする。 イ. 台所・食事室、共用リビングに隣接させ、直接行き来できるようにする。
屋外スロープ	・共用リビングへの通路の計画において高低差が生じる場合は、屋外スロープ(勾配は1/12以下)を設ける。
駐車スペース	・2台分(内、1台は来客用とし幅3,500mm以上とする)を設ける。
駐輪スペース	・3台分(居住者用)、3台分(来客用)を設ける。
門・塀・植栽等	

2. 要求図書

- a. 答案用紙の定められた枠内に、下表の要求図書を記入する。(寸法線は、枠外にはみだして記入してもよい。)
- b. 図面は黒鉛筆仕上げとする。(定規を用いなくてもよい。)
- c. 記入寸法法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、4.55mm(矩計図にあっては、10mm)である。
- d. シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてよい。

要 求 図 書 ( )内は縮尺	特 記 事 項
(1)1階平面図兼配置図 (1/100)	ア. 1階平面図兼配置図及び2階平面図には、次のものを記入する。 <div>・建築物の主要な寸法</div> <div>・室名等</div> <div>・「通し柱」を○印で囲み、「耐力壁」には△印を付ける。</div> <div>・矩計図の切断位置及び方向</div>
(2)2階平面図 (1/100)	イ. 1階平面図兼配置図には、次のものを記入する。 <div>・敷地境界線と建築物との距離</div> <div>・道路から建築物へのアプローチ、屋外テラス、屋外スロープ、駐車スペース、駐輪スペース、門、塀、植栽等</div> <div>・道路から敷地及び建築物の出入口には、▲印を付ける。</div> <div>・玄関ポーチ、玄関の土間部分、玄関ホール(廊下)及び屋外テラス部分の地盤面からの高さ</div> <div>・玄関…下足入れ</div> <div>・シューズクローク…棚</div> <div>・台所・食事室…テーブル、椅子、台所設備機器(流し台、調理台、コンロ台、冷蔵庫、食器棚等)</div> <div>・便所(A)…洋式便器、手洗器</div> <div>・洗濯室…洗濯機、手洗器</div> <div>・共用リビング…ソファ、テーブル、椅子、出入口、下足入れ</div> <div>・多目的便所…洋式便器、手すり、手洗器</div> <div>・スタッフ控室…机、椅子、ロッカー</div>

ウ. 2階平面図には、次のものを記入する。

・1階の屋根伏図(平家部分がある場合)

・個室(1)、(2)…ベッド、机、椅子、収納

・ドミトリー…ベッド、机、椅子

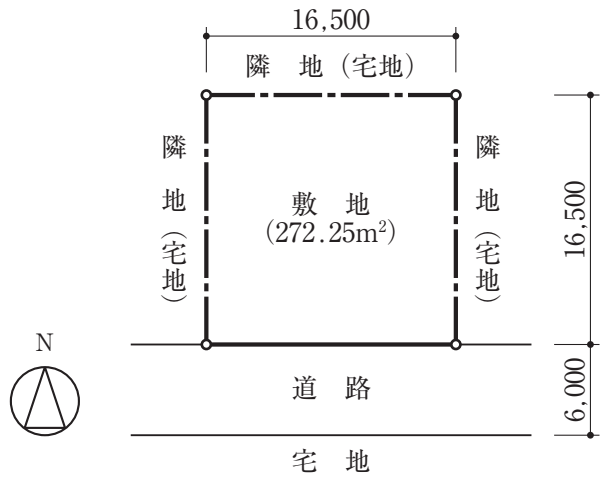
・談話室…テーブル、椅子、棚

・洗面脱衣室…洗面台、収納

・浴室…浴槽

・洗面室…洗面台

・便所(B)…洋式便器、手洗器



下 書 欄

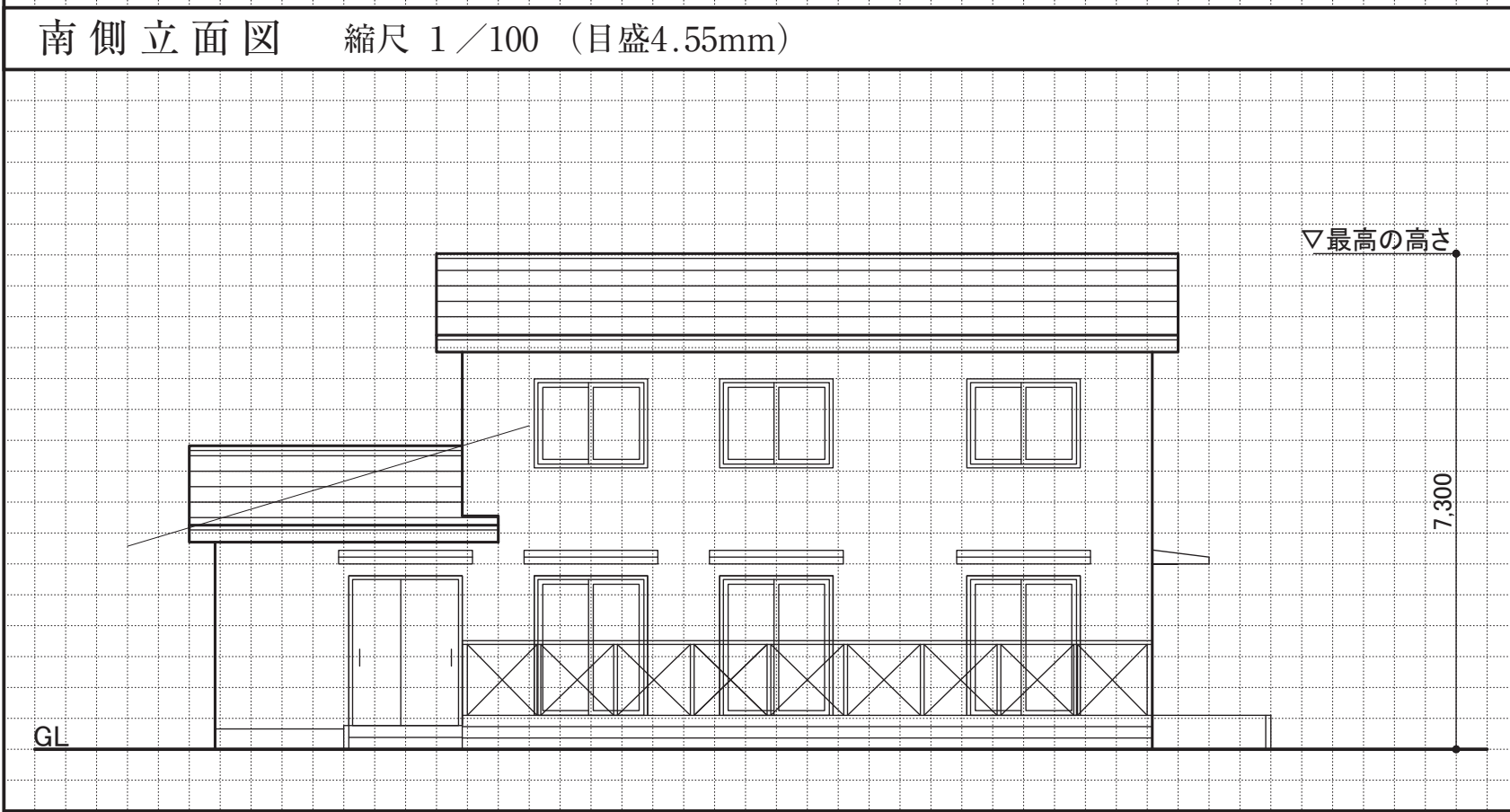
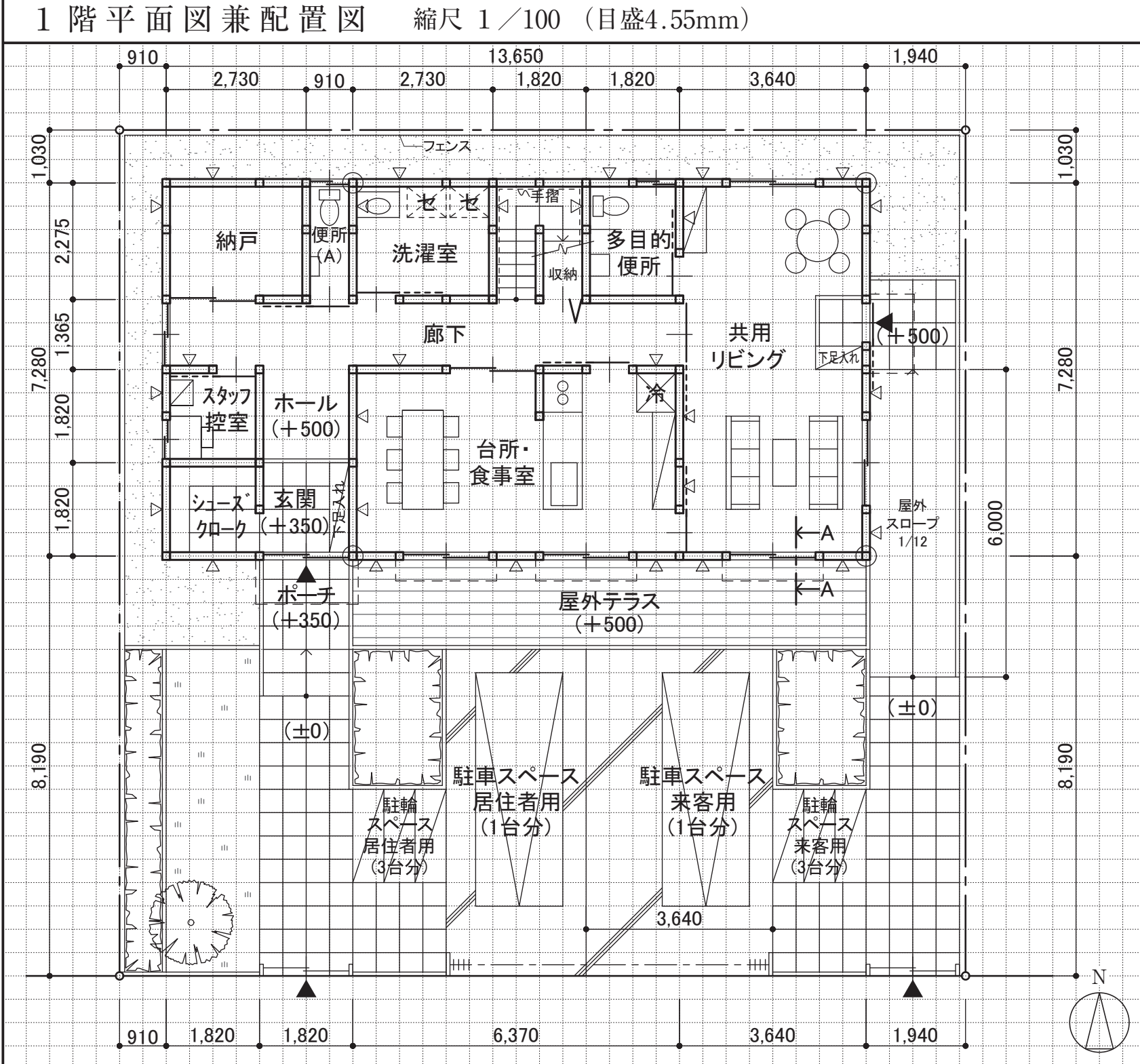
(目盛4.55mm)

会員  
番号

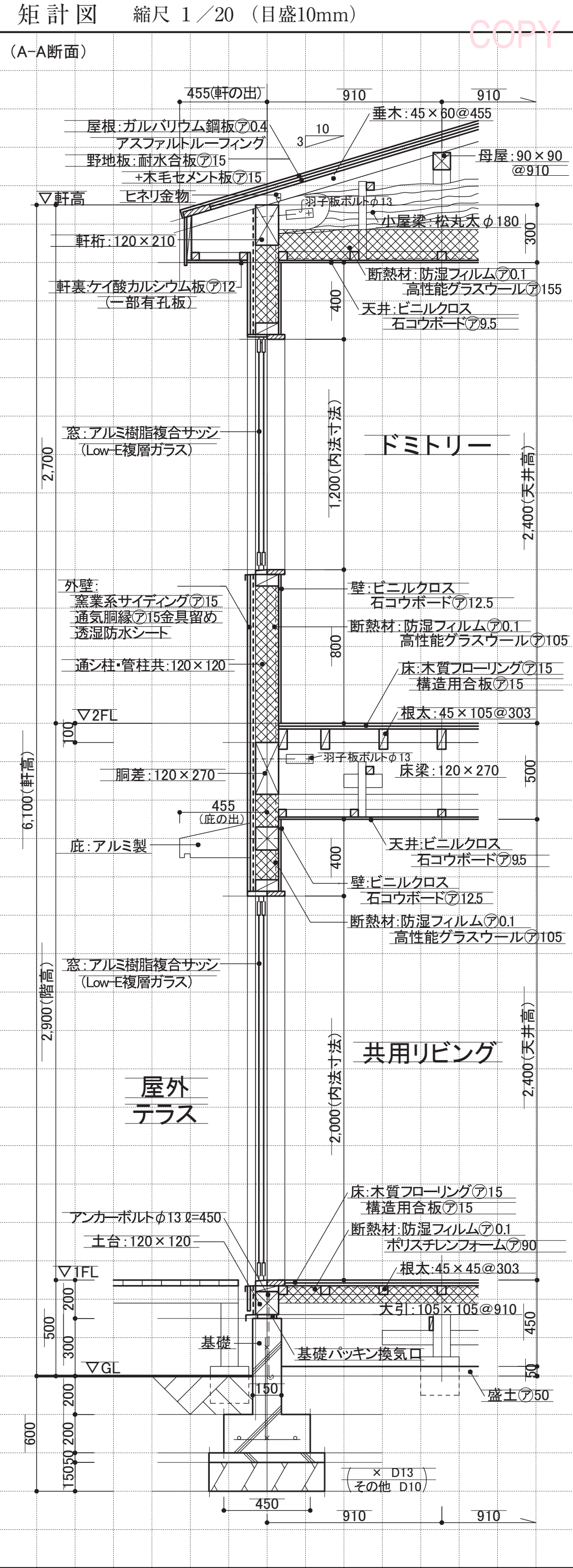
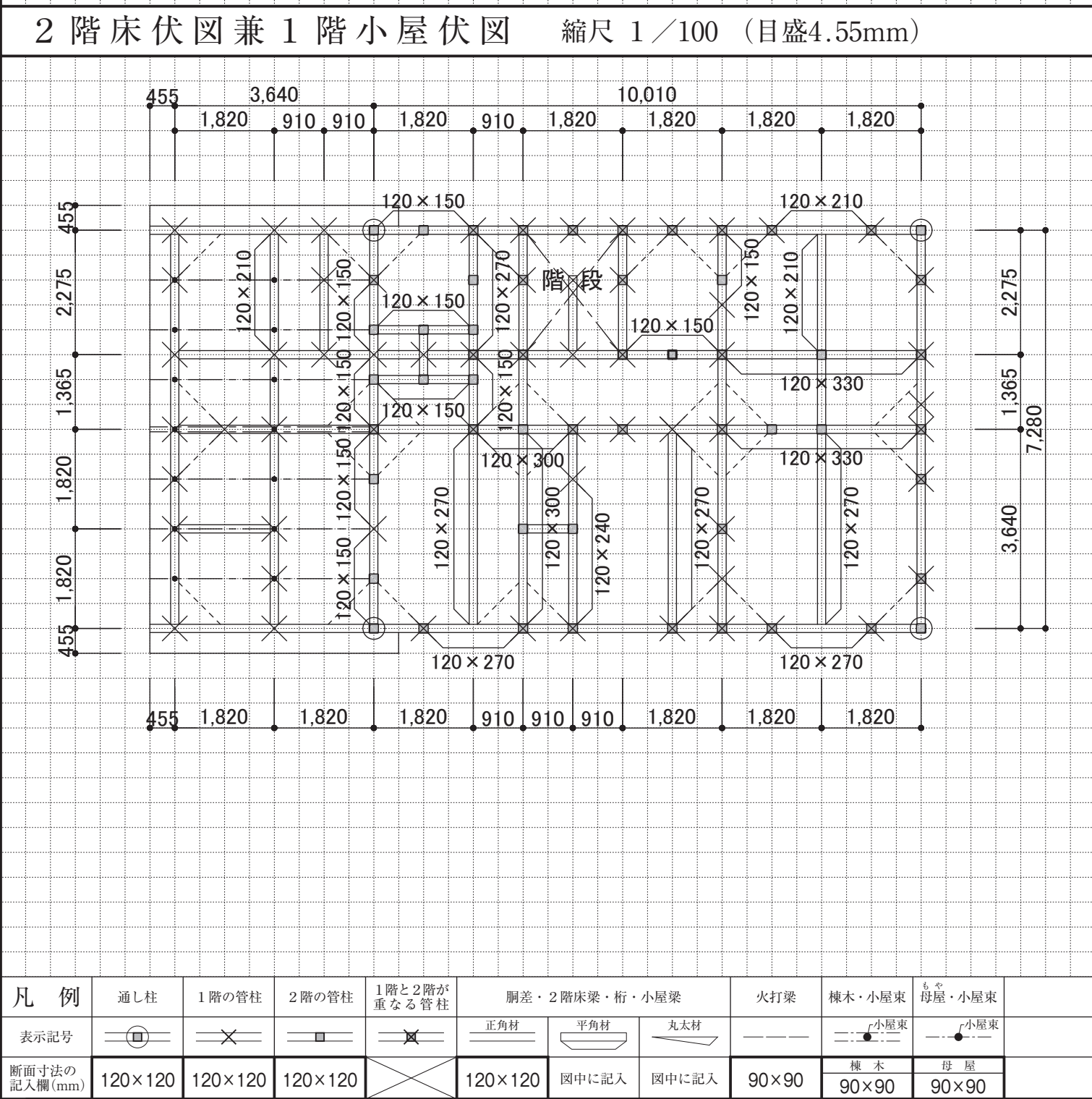
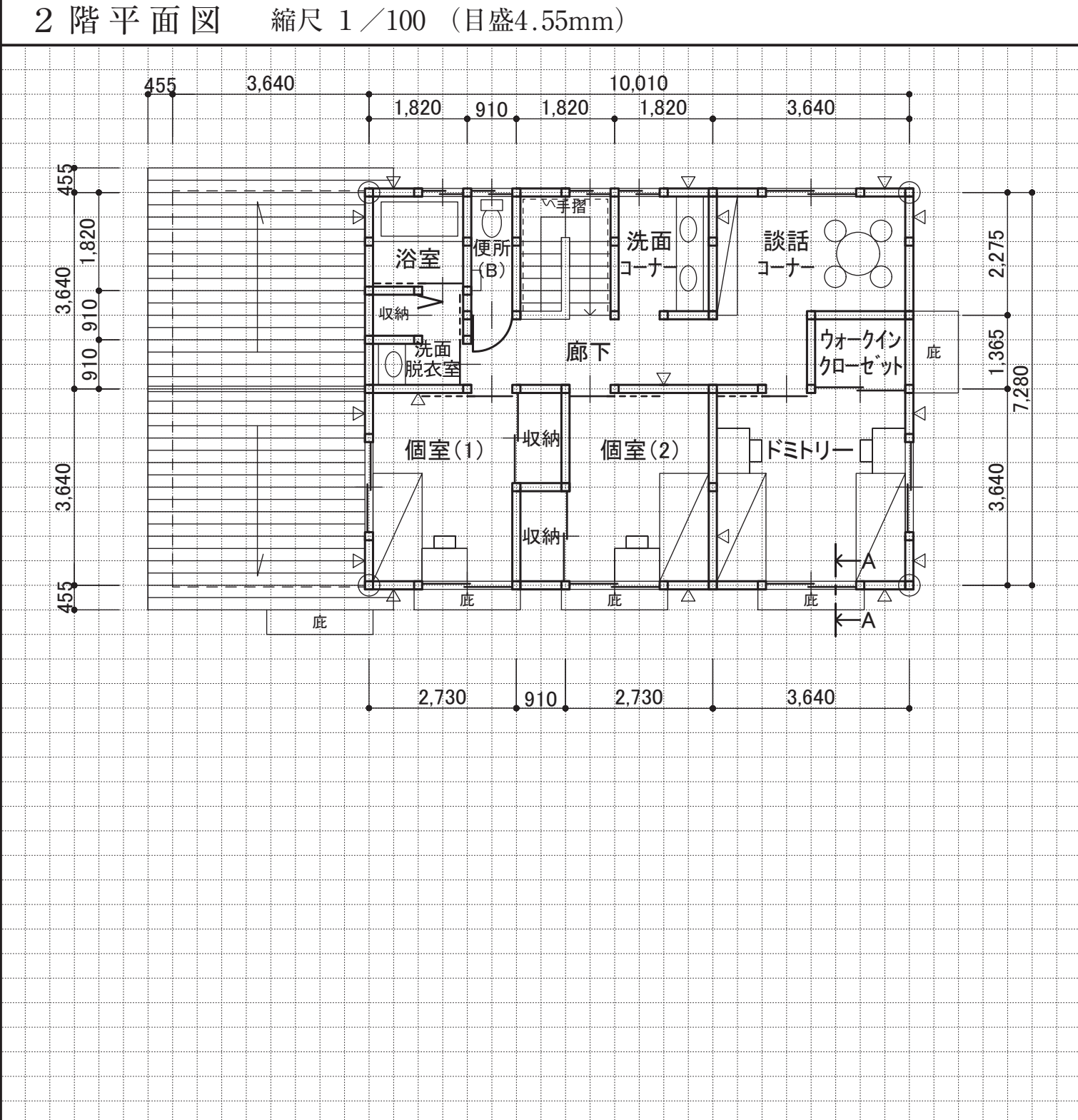
氏  
名

校  
名





面積表	敷地面積		272.25 m <sup>2</sup>		計画の要点等
	建築面積		99.37 m <sup>2</sup>		
	床面積	1 階	⑦	99.37 m <sup>2</sup>	
		2 階	④	72.87 m <sup>2</sup>	
	延べ面積		172.24 m <sup>2</sup>		
TAC 建築士講座					①：共用リビングは、日常に配慮し南面に向けて屋外テラスと一体的に配置した。居住者および来客者のそれぞれの利用・動線確保に配慮して、建築物内外の出入口を計画した。 ②：1、2階の壁及び柱の位置は構造強度に配慮して、出来るだけ上下の位置を揃えて配置した。また、梁スパンは耐震性に配慮して、2間（3640mm）迄とし梁への過剰な荷重負担が無いよう計画にした。 ③：居住者と来客者の動線が交錯しないよう配慮し、出入口を東西に離して計画した。駐車スペースおよび駐輪スペースは、建築物内部のゾーニング合わせて、居住者用を西、来客者用を東側に設け、十分なスペースを確保した。





令和7年 二級建築士設計製図 課題5 問題用紙

## 設計課題 「シェアハウス(木造)」

## 1. 設計条件

ある地方都市の住宅地において、公園に隣接する敷地に子育て世帯や単身世帯向けの学童機能(以下、学童保育室)のあるシェアハウスを計画する。

計画に当たっては、次の①～③に特に留意する。

- ①学童保育室は、入居者をはじめ近隣地域の対象世帯へも広く開かれたものとする。
- ②シェアハウスの出入口と学童保育室の出入口は明確に分離し、屋内の1階部分で直接行き来できるようにする。
- ③建築物の環境負荷低減(省エネルギー等)に配慮する。

### (1) 敷 地

ア. 形状、道路との関係、方位等は、右下に示す敷地図のとおりである。  
イ. 第一種住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。  
ウ. 建蔽率の限度は60%、容積率の限度は200%である。  
エ. 地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。  
オ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。

(2) 構造、階数、建築物の高さ等

イ. 建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは7m以下とする。

ウ. 耐力壁(筋かい等を設けた構造上有効な壁)は、必要な量をバランスよく配置する。

(3) 延べ面積等

イ. ピロティ、玄関ポーチ、屋外テラス、屋外スロープ、駐車スペース、駐輪スペース等は、床面積に算入しないものとする。

(4) 人員構成等

イ. 運営スタッフ：2人(外部委託)

(5) 要求室等

下表の全ての室等は、指定された設置階に計画する。

設置階	室 名	特 記 事 項
1 階	玄 関	・下足入れを設ける。
	居間・食事室・台所	ア. 1室にまとめ、広さは26㎡以上とする。 イ. 居間には、ソファ(計6席)及びテーブルを設ける。 ウ. 食事室には、テーブル及び椅子(計6席)を設ける。 エ. 屋外テラスを隣接させ、直接行き来できるようにする。
	学 童 保 育 室	ア. 広さは洋室26㎡以上とし、その他に便所(A)、便所(B)、事務室を設ける。 イ. 事務室には、机及び椅子(計1席)、収納を設ける。 ウ. 屋外から直接行き来できる専用の出入口を設け、下足入れ、式台を設ける。 エ. 「学習机(座卓)」(幅1,500mm×奥行600mm以上)を2台以上、棚(幅900mm×奥行300mm以上)を4台以上設ける。 オ. 芝生広場を隣接させ、直接行き来できるようにする。 カ. 芝生広場への経路には、踏み石を設ける。
	ワークスペース	ア. 入居者が在宅ワーク等に使用する。 イ. 机(計3台)及び椅子(計3席)を設ける。
	洗面脱衣室	・洗面台を設ける。
	浴 室	
	洗面コーナー	・洗面台を設ける。
2 階	便 所	
	納 戸	
	ドミトリ(1)	ア. いずれも、広さは洋室13㎡以上とし、2人利用とする。
	ドミトリ(2)	イ. それぞれに、ベッド(計2台)、収納(計2つ)を設ける。
	個 室 (1)	ア. いずれも、広さは洋室6㎡以上とし、1人利用とする。
	個 室 (2)	イ. それぞれに、ベッド、収納を設ける。
	談 話 室	ア. テーブル及び椅子(計4席以上)を設ける。 イ. コーナーとしてもよい。
	洗 濯 室	・洗濯機(計2台)、手洗器を設ける。
	シャワー室(1)	ア. いずれも、広さは心々910mm×2,275mm以上とする。
	シャワー室(2)	イ. いずれも、脱衣スペースを含む。
	洗 面 室(1)	ア. 洗面台を設ける。
	洗 面 室(2)	イ. コーナーとしてもよい。
	便 所 (1)	
	便 所 (2)	

(注1)各要求室等において、床面積・広さの指定がない場合、床面積は適宜とする。  
(注2)1階の廊下の幅は、心々1,365mm以上とする。

(6) 屋外施設等

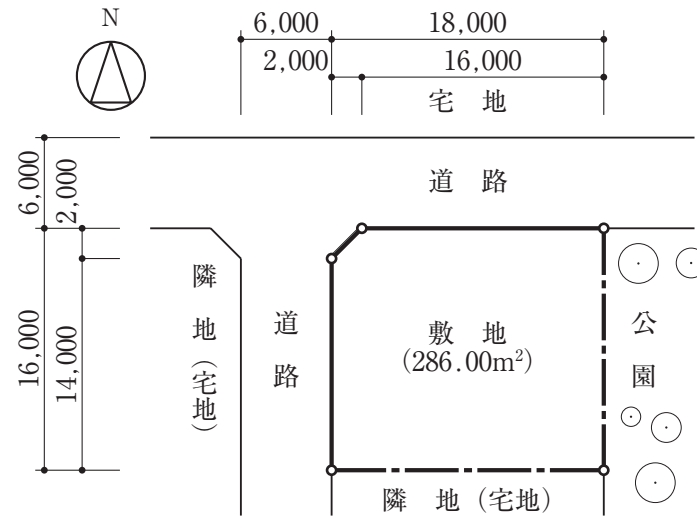
屋外に下表のものを計画する。

芝 生 広 場	<p>ア. 広さは33㎡以上とし、まとまったスペース(直径 3 m以上の円が 2 つ入る)とする。</p> <p>イ. 学童保育室に隣接させる。</p> <p>ウ. 公園へ直接行き来できるようにする。</p> <p>エ. 洗い場(計 2 台)を設ける。</p>
屋 外 テ ラ ス	<p>ア. 広さは13㎡以上とし、テーブル(計 2 台)及び椅子(計 8 席)を設ける。</p> <p>イ. 居間・食事室・台所に隣接させる。</p>
屋外スロープ	<p>・学童保育室への通路の計画において高低差が生じる場合に設ける(勾配は、1/15以下)。</p>
駐車スペース	<p>・入居者用(1 台分)、学童用(1 台分)を設ける。</p>
駐輪スペース	<p>・入居者用(計 2 台分)、学童用(計 8 台分)を設ける。それぞれ、台数を分けて配置してもよいものとする。</p>
門・堀・植栽等	

## 2. 要求図書

- 答案用紙の定められた枠内に、下表の要求図書を記入する。(寸法線は、枠外にはみだして記入してもよい。)
- 図面は黒鉛筆仕上げとする。(定規を用いなくてもよい。)
- 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、4.55mm(矩計図にあっては、10mm)である。
- シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてよい。

要 求 書 ( )内は縮尺	特 記 事 項
(1) 1階平面図兼配置図 (1/100)	ア. 1階平面図兼配置図及び2階平面図には、次のものを記入する。 ・建築物の主要な寸法 ・室名等 ・「通し柱」を○印で囲み、「耐力壁」には△印を付ける。 ・矩計図の切断位置及び方向
(2) 2階平面図 (1/100)	イ. 1階平面図兼配置図には、次のものを記入する。 ・敷地境界線と建築物との距離 ・道路から建築物へのアプローチ、屋外テラス、屋外スロープ、駐車スペース、駐輪スペース、門、塀、植栽等 ・道路から敷地及び建築物の出入口には、▲印を付ける。 ・ポーチ、玄関の土間部分、玄関ホール(廊下)、学童保育室の出入口、学童保育室及び屋外テラス部分の地盤面からの高さ ・玄関…下足入れ ・居間・食事室・台所…ソファ、テーブル、椅子、台所設備機器(流し台、調理台、コンロ台、冷蔵庫、食器棚等) ・学童保育室…便所(A)、(B)洋式便器、手洗器)、事務室(机、椅子、収納)、出入口(下足入れ、式台)、学習机、棚 ・ワークスペース…机、椅子 ・洗面脱衣室…洗面台 ・浴室…浴槽 ・洗面コナ…洗面台 ・便所…洋式便器、手洗器 ・芝生広場…踏み石、洗い場、直径3m以上の円を破線で明記
(3) 2階床伏図兼1階小伏図 (1/100)	ウ. 2階平面図には、次のものを記入する。 ・1階の屋根伏図(平家部分がある場合) ・ドミトリー(1)、(2)…ベッド、収納 ・個室(1)、(2)…ベッド、収納 ・談話室…テーブル、椅子 ・洗濯室…洗濯機、手洗器 ・シャワー室(1)、(2)…シャワーヘッド、脱衣スペース ・洗面室(1)、(2)…洗面台 ・便所(1)、(2)…洋式便器、手洗器
(4) 立面図 (1/100)	ア. 主要部材(通し柱、1階及び2階の管柱、胴差、2階床梁、桁、小屋梁、火打梁、棟木、母屋、小屋束など必要なもの)については、凡例の表示記号にしたがって記入し、断面寸法(小屋束を除く。)を凡例欄に記入する。ただし、主要部材のうち、平角材又は丸太材としたものについては、その断面寸法を図面上に記入する。なお、根太及び垂木については、記入しなくてよい。 イ. 火打梁の代わりに、構造用面材による床組とする場合には、胴差、床梁、桁を記入したうえで構造用合板の厚さ、釘の種類・打ち付け間隔を明記する。 ウ. その他必要に応じて用いた表示記号は、凡例欄に明記する。 エ. 建築物の主要な寸法を記入する。
(5) 矩 計 図 (1/20)	ア. 西側立面図とする。 イ. 建築物の最高の高さを記入する。 ア. 切断位置は、1階及び2階の外壁を含む部分とし、1階及び2階のどちらにも開口部を含むものとする。 イ. 作図の範囲は、柱心から1,000mm以上とする。 ウ. 矩計図のない程度であれば、水平方向及び垂直方向の作図上の省略は、行ってもよいものとする。 エ. 主要部の寸法等(床高、天井高、階高、軒高、軒の出、開口部の内法、屋根の勾配)を記入する。 オ. 主要部材(基礎、土台、胴差、2階床梁、2階根太、桁、小屋梁、母屋、垂木など必要なもの)の名称・断面寸法を記入する。 カ. 床下換気口(又は、これに代わるもの)の位置・名称を記入する。 キ. アンカーボルト、羽子板ボルト等の名称・寸法を記入する。 ク. 屋根(小屋裏が外気に通じている場合は、屋根の直下の天井)、外壁、その他必要と思われる部分の断熱・防湿措置を記入する。 ケ. 室名及び内外の主要な部位(屋根、外壁、床、内壁、天井)の仕上材料名を記入する。 コ. 外壁の仕上については、乾式工法によるものとする。
(6) 面 積 表	ア. 建築面積、床面積及び延べ面積を記入する。 イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ. 面積の数値は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。
(7)計画の要点等	・建築物等の計画に関する次の①～③について、具体的に記述する。 ①学童保育室の計画について、工夫した点 ②構造物について、工夫した点 ③環境負荷低減(省エネルギー等)について、工夫した点



敷地図 (縮尺: 1/500、単位: mm)

下書欄

(目盛4.55mm)

[illegible]



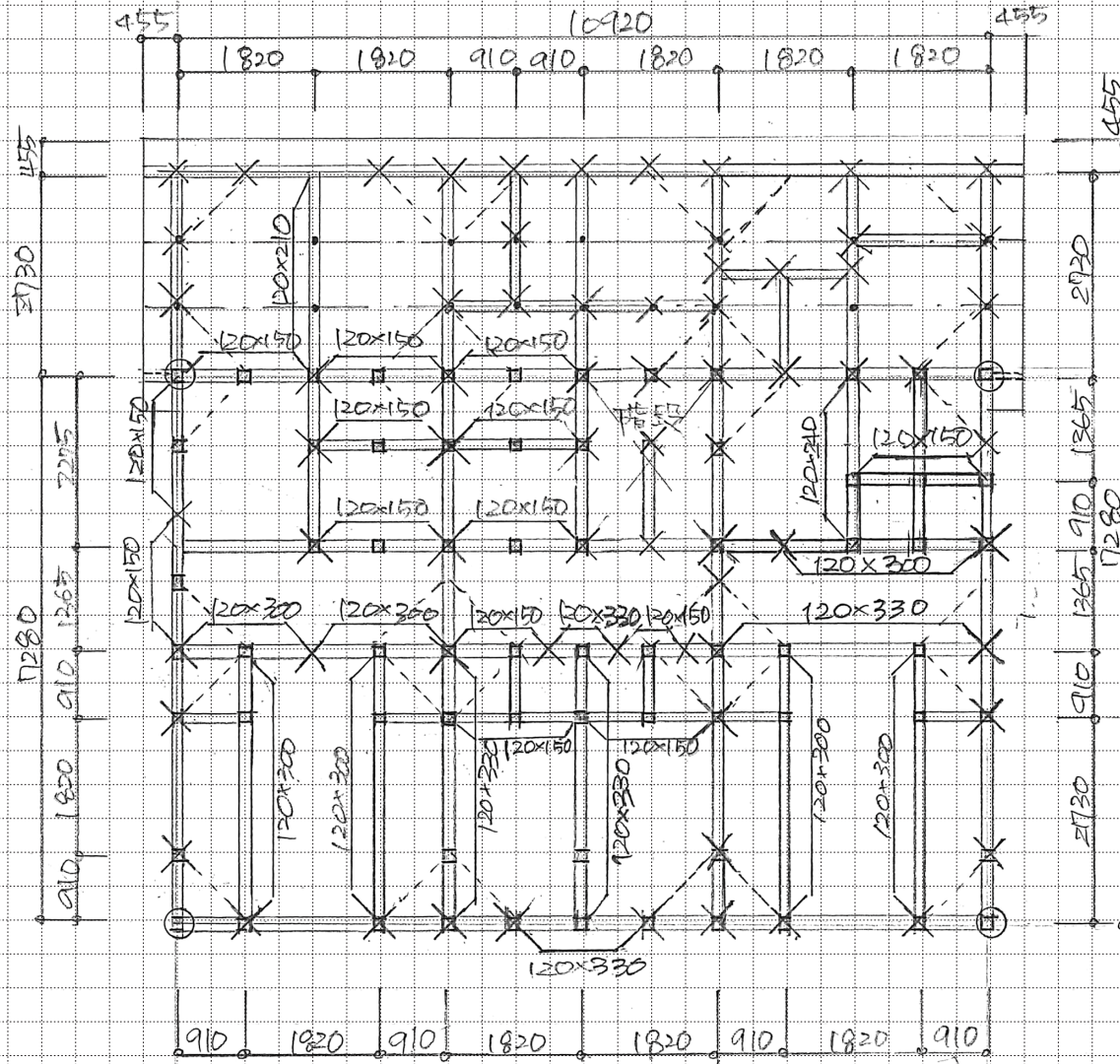
西側立面図 縮尺 1/100 (目盛4.55mm)



### 計画の要点等

- ①：学童保育室は、明るく開放的な空間となるよう、日当たりの良い南側および東側の公園に面するように配置した。又、敷地の南東エリアに計画することにより、道路からの視線を遮り安全性や防犯性にも配慮した。
- ②：二面接道を活かし、シェアハウスへのアプローチを西側道路から、学童保育室へのアプローチを北側道路から確保し、動線の交錯を避け明確に分離した。又、学童保育室へのアプローチは、公園への眺望に配慮し、東側に計画した。
- ③：居室は、南面に配置した大きな開口を設けることで、明度・採光の向上を図った。居室は、通風に配慮して、できるだけ2面に開口部を設けた。建物は、凹凸の少ないシンプルな形状とし、熱損失の低減を図った。

2階床伏図兼1階小屋伏図 縮尺 1/100 (目盛4.55mm)



凡 例	通し柱	1 階の管柱	2 階の管柱	1 階と 2 階が 重なる 管柱	胴 差 ・ 2 階床梁 ・ 桁 ・ 小室梁			火 打 梁	棟 木 ・ 小 屋 梁	も ち 母 屋 ・ 小 屋 梁
表示記号					正角材	平角材	丸太材			
断面寸法の 記入欄 (mm)	120×120	120×120	120×120		120×120	図中に記入	図中に記入	90×90	棟 木 90×90	母 屋 90×90